

研究・イノベーション学会、科学技術・学術政策研究所共催 徹底討論 WS  
イノベーション創出に貢献できる人材育成「先進的な取組事例と課題」開催の趣旨

### 1. 開催の趣旨

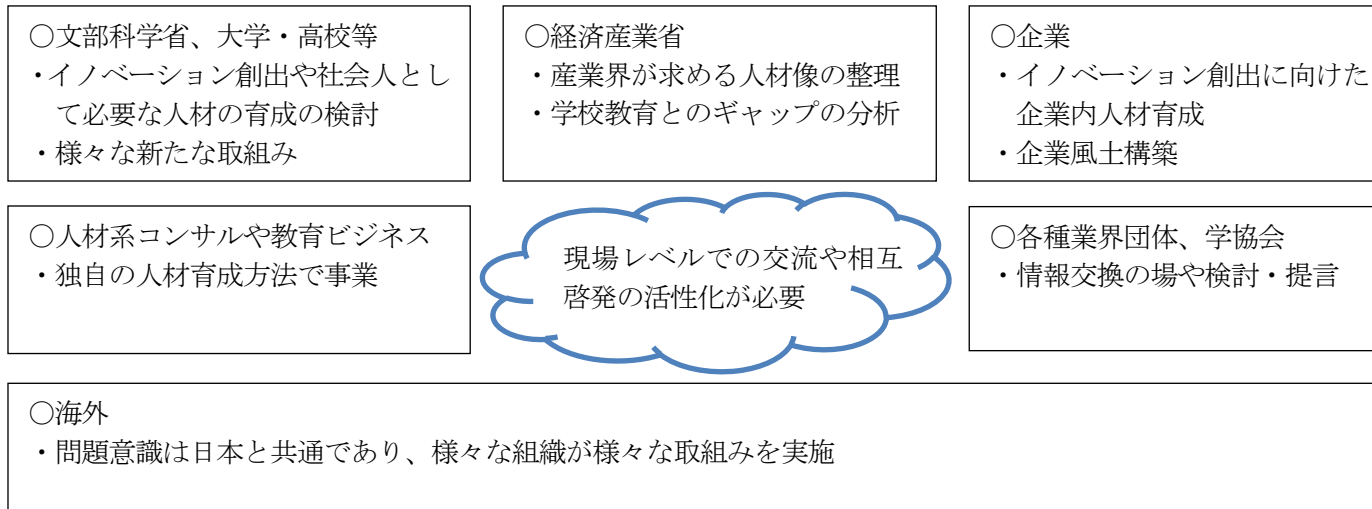
イノベーション創出に向けては、人材の問題が重要であることは言うまでもありませんが、現在、様々な組織においてこうした人材を育成するための取組を実施しているものの、問題意識や先進的な事例は企業や大学において、必ずしも共有されているとは言えない状況である。

このため、2年前にイノベーション創出に貢献できる人材に求められる能力要素についてWSを開催し、必要な能力要素や人材を中心に議論を行ったが、その次のステップとして、本WSではベストプラクティスとなる取組事例を紹介すると共に、課題等についても議論することを目的として開催するものである。

\* 「イノベーション創出に貢献できる人材」という言葉に込めた意味：幅広いスコープから議論するため、あえて対象範囲を広げた

### 2. 問題意識

- ・人材問題は、様々な機関が様々な検討を行っており、新たな取組みや知見が随所に見られるが、情報の共有化が不十分。
- ・人材問題を検討している各機関との連携・ネットワーク強化を図りつつ、議論を深め、広く情報発信をしていく必要がある。



### 3. これまでの取組み

#### ○2016年

以下の2回のワークショップを開催

##### ○第1回人材WS

〔イノベーション創出に貢献できる人材に求められる能力要素〕

- ・求められる人材像
- ・各セクターの取組例と課題

※全ての議論の土台、共通認識の形成が目的

HP: <http://www.hrcci.jp/>

(HRCCI: Human Resources for Contributing to Create Innovations)

##### ○緊急WS

「新たな産業パラダイム転換期に対応できる人材の育成」

#### ○2017年

学会の年次大会のホットイシューとして、以下のテーマを議論した。

- ・テーマ：研究開発・イノベーション人材の多様性とキャリア展開

### 4. 今後検討を進めたいと考えているテーマ

テーマ	議論すべき内容
①イノベーション創出に向けた人材の育成	・個々の能力要素の育成方法 ー創造性、戦略立案能力、グローバル化対応力、幅広い専門性、人間としての基礎力等
②Society5.0等、新たな変革に対応できる人材の確保・育成	・産業界のニーズと教育のマッチング、専門教育の充実 ・新たに必要とされる専門性への対応（AI等）
③キャリアパス・人材の流動性	・多様な人材の確保・活用、キャリアパスの多様化 ・人材の流動化の推進 ・生涯教育
④博士人材の育成・キャリア	・博士人材の育成とキャリアパス
⑤科学技術への興味関心の醸成・人材確保	・少子化、工学部学生の減少への対応 ・科学技術への興味関心の醸成、キャリア教育
⑥地域振興に向けた人材の育成（確保も含む）	・地域振興に必要な人材 ・オープンイノベーションを推進・支援できる人材の育成（ファシリテーター、コーディネーター など） *オープンイノベーション単独も考えられる
⑦人材の活性化	・モチベーション向上策、企業風土構築など人材活性化策

【参考資料】

その1. 産業界において人材の種類別に必要と考えられる能力要素

\* 青字・下線は日本において比較的弱いと感じられるもの

	研究開発人材	研究開発支援人材 経営戦略、企画調整、検査分析、 資材調達、知財、標準化、労務管 理、法的対応、設備管理など	事業化人材（経営層を含む）		
			アイデアクリエイター	プロデューサー・ ビジネスプランナー	インキュベーター
個別要素	[アイデア創出] <u>・創造性</u> <u>・構想力</u> ・ニーズに対する幅広いアンテナ  [専門性] ・深い専門知識と幅広い知識  [実社会への展開] ・市場・顧客に対する理解 ・柔軟性	[経営戦略] <u>・ビジョン構築力、構想力</u> <u>・社会動向に関する幅広い知識</u> <u>・将来社会に対する洞察</u> ・事業分野や顧客に関する幅広い知識 ・技術動向に関する幅広い知識  [管理者層] <u>・組織風土構築力（チャレンジで きる環境作り など）</u>  [それ以外] ・個々の業務に応じた専門性	[アイデア創出] <u>・創造性</u> <u>・構想力</u> ・ニーズに対する幅広いアンテナ  [専門性] ・深い専門知識と幅広い知識	[構想] <u>・ビジョン構築力、構想力</u> <u>・社会動向に関する幅広い知識</u> <u>・将来社会に対する洞察</u> ・事業分野や顧客に関する幅広い知識・理解 ・技術動向に関する幅広い知識  [判断] <u>・目利き</u>	[実社会への展開] ・市場・顧客に対する理解 ・柔軟性  [確実性] ・採算性を確実に計算できる力 ・リスクを読み対応できる力  [戦術性] ・以下の様な戦術検討ができる力 <u>ー利益が出る仕組み</u> <u>ー知財・標準化などで優位に立 てる戦術</u> <u>ー市場拡大や収益増大に寄与 できる様な連携戦術</u> ー資材調達、業務方法の改善
共通要素	[人間としての基礎力] ○社会人基礎力 <u>・前に踏み出す力（主体性、働きかけ力、実行力）、粘り強さ</u> <u>・考え抜く力（課題発見力、計画力、創造力）</u> ・チームで働く力（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）、調整力 ○ <u>グローバル化対応能力</u> <u>・外国語でのコミュニケーション力</u> <u>・異文化理解・活用力</u>  [知識面] ○社会全体の動向に対する幅広い知識 ○技術全体の動向に対する幅広い知識				
	[意識・モチベーション面] ○夢 } <u>夢を持ちやすい社会と言えるか？</u> ○志 }				

その2. 育成すべき能力要素・醸成したい職業観等

	研究開発人材の育成	研究開発支援人材・事業化人材 (経営層を含む) 育成	基礎力の育成	キャリア、職業観の醸成
初等・ 中等教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理数系の基礎知識、基礎学力</li> <li>・科学技術に対する興味・関心</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人基礎力 (前ページ記載)</li> <li>・海外への興味・関心、語学力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術に対する興味・関心</li> <li>・職業に関する知識、実社会との 触れ合い</li> </ul>
大学等の 高等教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な専門性</li> <li>・幅広い専門知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営に関する知識 (MOT、MBA 等)</li> <li>・起業に関する知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識 (一般教養)</li> <li>・社会人基礎力 (前ページ記載)</li> <li>・グローバル化対応能力 (前ページ記載)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する知識、実社会との 触れ合い</li> </ul>
産業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前ページに記載した能力</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のキャリアをデザイン できること</li> </ul>
生涯教育	<p>[全般的事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前ページに記載した能力</li> </ul> <p>[転職や再就職を想定する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再就職に向けて必要な専門性</li> </ul>			

その3. 収集・普及したい先進事例

	研究開発人材の育成	研究開発支援人材・事業化人材 (経営層を含む) 育成	基礎力の育成	キャリア、職業観の醸成
初等・ 中等教育	○海外の理科教育 ・理科や科学技術に興味・関心を持たせるための工夫		○海外・国内の学校教育 ・児童・生徒に自主的に考えさせる教育 ・語学教育など、グローバル化対応に向けた教育	○海外の理科教育 ・理科や科学技術に興味・関心を持たせるための工夫 ・企業の協力 ○欧米のキャリア教育 ・教育体系の考え方 ・企業の協力
大学	○海外・国内の大学・大学院教育 ・幅広い専門性を身に付けさせる教育体系（国内ではリーディング大学院プログラムなど） ・企業の協力	○海外・国内の大学・大学院やビジネススクールでの取組み ・経営人材育成 ・起業に向けた教育（国内ではEDGEプログラムなど） ・企業の協力	○海外・国内の大学・大学院教育 ・幅広い知識（一般教養）を身に付けさせる教育 ・社会人基礎力を身に付けさせる教育 ・グローバル化対応に向けた教育（留学支援、海外でのインターンシップなど） ・企業の協力	○海外・国内の大学・大学院教育 ・論文テーマなどへの企業の協力 ・インターンシップ ○海外の大学でのキャリアパス ・教員のキャリアパス ・ポスドク等のキャリアパス
産業界	○海外・国内の企業における人材確保・育成・活用 ・P3に記載した各種能力の育成 ※企業風土構築、組織マネジメントも含む ※グローバル、という視点も非常に重要			○海外・国内におけるキャリアパス、人材の流動性 ・企業内のキャリアパス ・海外において転職が容易な背景
生涯教育	○海外における生涯教育（大学・ビジネススクールなど）			